

化学物質対策の体系

資料 3 参考 1

有害性試験



メダカを用いた有害性試験



環境の監視



採水風景



LC/MS分析装置

排出量の把握と管理

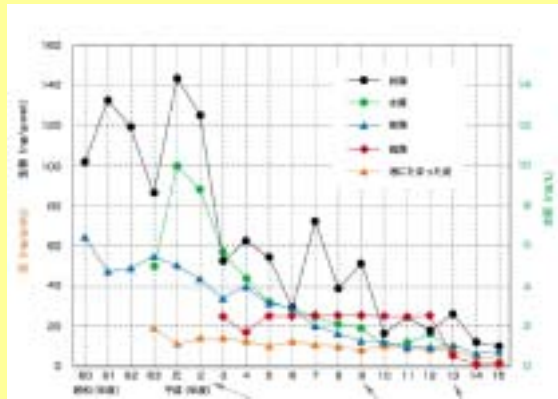
都道府県別のエチルベンゼン排出量



調査研究



国際シンポジウムの開催



トリブチルスズ (TBT) 濃度の経年変化

情報の提供



有害性の強さ

×

ばく露量

=

環境リスクの大きさ

# 環境保健行政における化学物質管理の変遷と展望（1）

## SPEED'98 以前

S42	S43	S45	S46	S48	S49
公害対策				有害性の 事前評価	
環境庁発足					
公害対策基 本法制定	大防法制定	公健法・ 水濁法制定		化審法制定	
					黒本調査開始
1967	1968	1970	1971	1972	1973

H4	H5	H6	H9
予防的取組			
リスク評価室設置			
	環境基本 法制定	第1次環境 基本計画	
リオ宣言			
			初期リスク評価開始
1992	1993	1994	1995

# 環境保健行政における化学物質管理の変遷と展望（２）

## SPEED'98 の時代

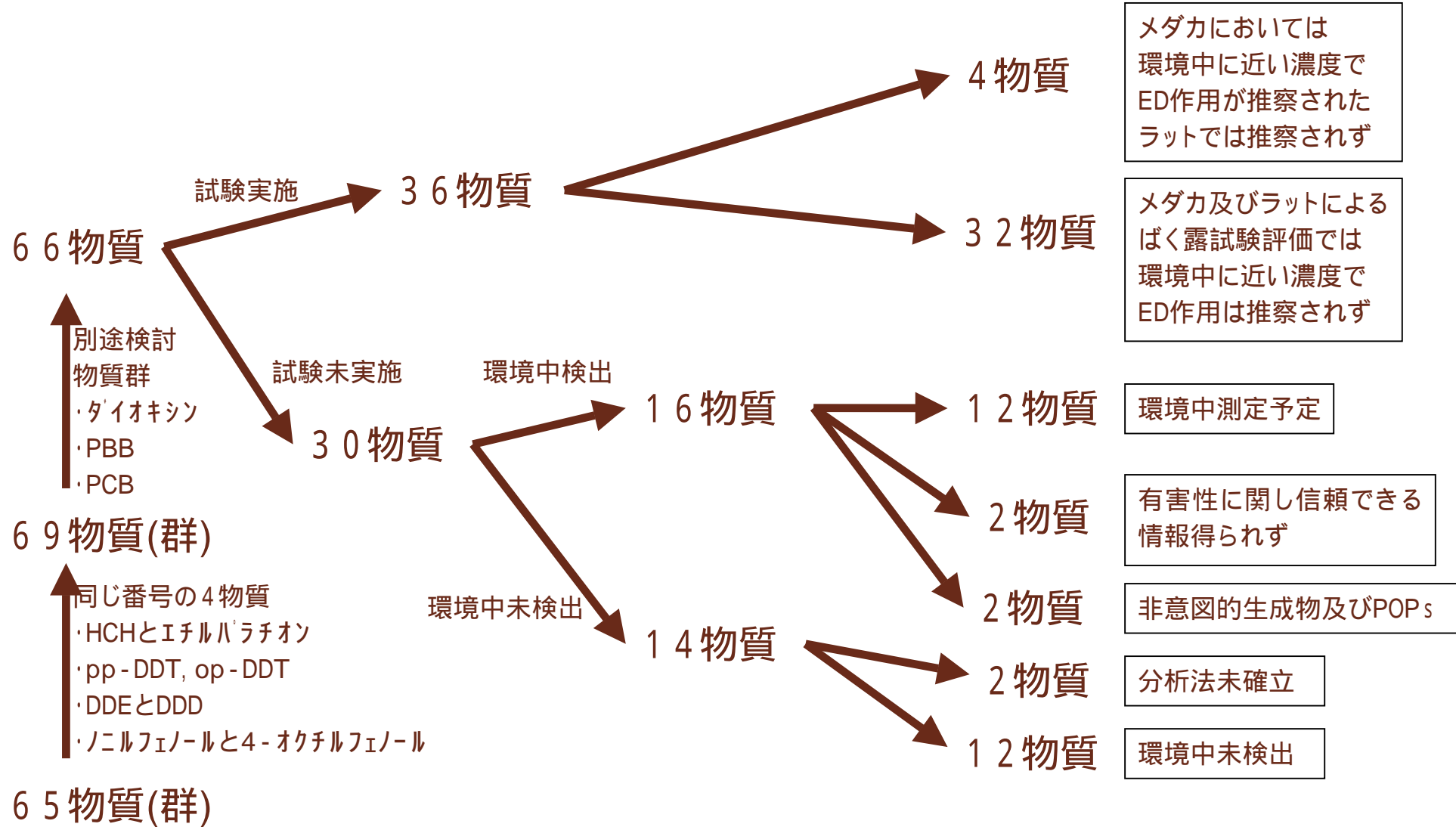
H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
自主的取組						生態系へ着目
環境省発足					化審室設置	
	ダイオキシン法 化管法 制定	第2次 環境基本計画			化審法改正	
				OECDビュー ヨネブルグメント	POPs 条約 発効	
				黒本リスト廃止		

SPEED'98 開始		ミニアムプロジェクト 開始			ミニアムプロジェクト 終了	SPEED'98 見直し
1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004

## 環境保健部における化学物質管理関係予算と内分泌かく乱問題関係予算の推移

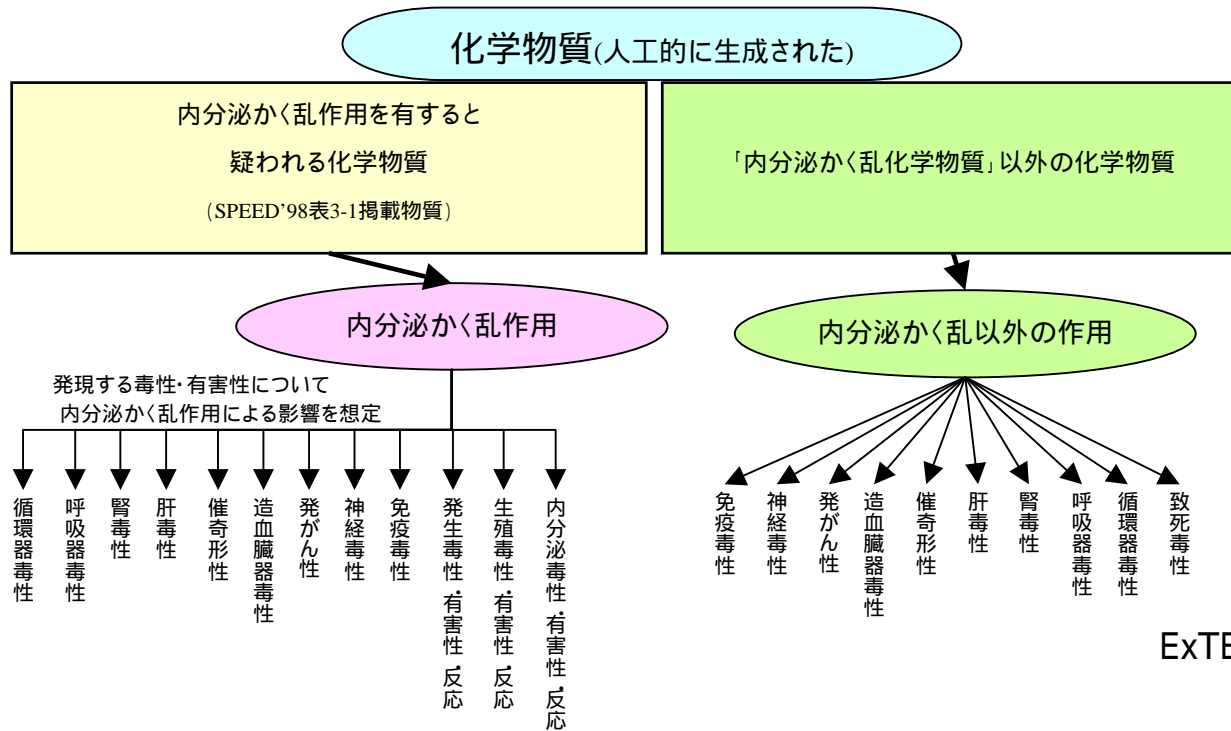
(百万円)	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
<b>化学物質管理のための経費総額</b>	867	2,591	3,473	3,438	3,343	3,852	3,451	3,270	3,016
<b>SPEED'98/ExTEND2005 経費</b>	84	960	1,652	1,652	1,683	1,677	1,289	750	546
<b>化学物質管理経費総額における SPEED'98/ExTEND2005 経費割合</b>	10%	37%	48%	48%	50%	44%	37%	23%	18%

# SPEED'98リスト65物質の検討状況

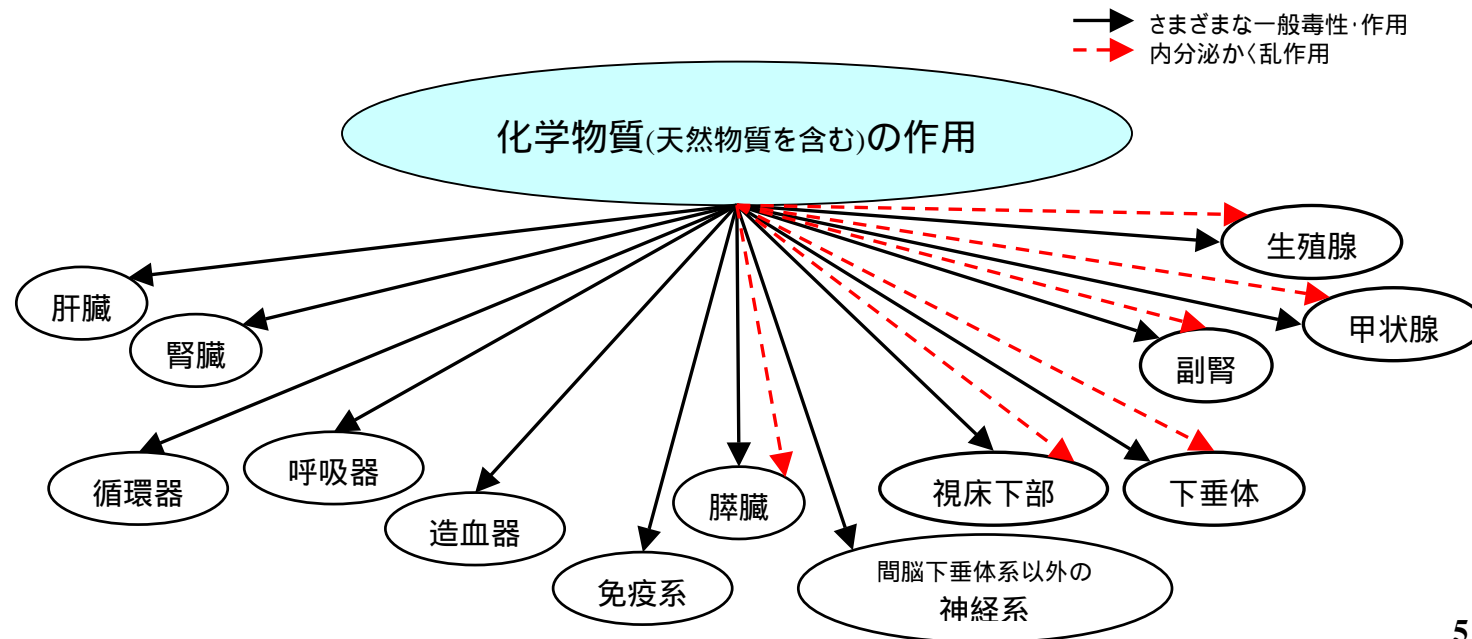


平成18年6月末現在

# SPEED'98時代における受けとめ方の一例

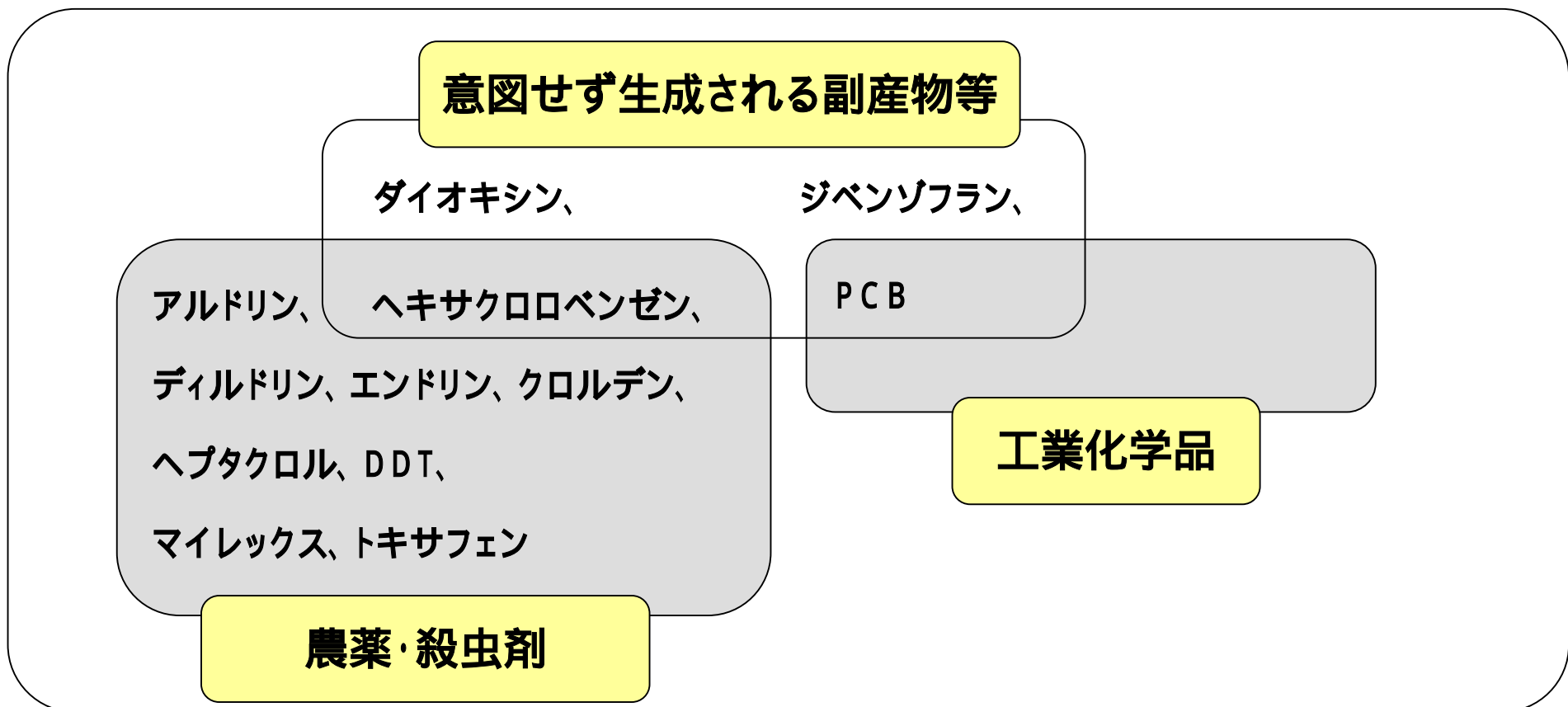


## ExTEND2005における捉え方



# POPs条約

POPs (**P**ersistent **O**rganic **P**ollutants 残留性有機汚染物質) は  
毒性があり、分解しにくく、生物中に蓄積され、長距離を移動する  
POPs による汚染を防止するため、国際的に協調して廃絶、削減等を行う



# 環境保健行政における化学物質管理の変遷と展望（3）

## ExTEND2005 以降（案）

H17	H18	H19	H20	H21	H22～
フィルト調査の充 実					リスクに基く 体系的な管理
	第3次 環境基本計画	化管法見直		化審法見直	
ジャパンチャレンジ 開始	SAICM 開始		Jチャレンジ中間評価 GHS 導入		
エコ調査拡充					
ExTEND2005 開始				ExTEND2005 終了	
2005	2006	2007	2008	2009	2010～

# ExTEND2005 における各取組の展開（案）

H12～H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22～
	<b>1 野生生物の観察</b> 研究推進開始	合同発表会開催 観察者大会開始				
環境中での検出状況、野生生物等への影響に係る実態調査の推進	<b>2 環境中濃度の実態把握及びばく露の測定</b> エコ調査の拡充					
	<b>3 基礎的研究の推進</b> 研究推進開始  疫学手法の検討	合同発表会開催 レビュー体制立上げ				
試験研究及び技術開発の推進	<b>4 影響評価</b>					
環境リスク評価、環境リスク管理及び情報提供の推進	<b>5 リスク評価</b> <b>6 リスク管理</b>					
	<b>7 情報提供とリスク・コミュニケーション等の推進</b>					
	HP 立上げ エコクラブ生物観察隊立上げ 一般向けシンポジウムの継続	小児環境保健シンポと合同	化学物質シンポジウムへ発展			
国際的なネットワーク強化のための努力	<b>国際協調</b> OECD/WNT/EDTA への参加 日英共同研究 (H16 取極) 継続 日米共同会議 (H16 取極) 継続 専門家シンポジウム継続	合同発表会開催 合同発表会開催 合同発表会開催				
	2005	2006	2007	2008	2009	2010～



# 内分泌かく乱化学物質問題の各省庁フロー図

